

地域づくり表彰

しとりにし
倭文西まちづくり協議会

(岡山県美咲町)

目指せ！賑やかな過疎

しとりにし
倭文西まちづくり協議会

会長

もりおか ひろみ
森岡 洋省



1. 美咲町の概要

美咲町は、岡山県のほぼ中央に位置し、町内には岡山県三大河川の旭川と吉井川が南北に流れ、町の大半は山間地が続き、豊かな自然を有する東西に長い中山間地域の人情あふれる町です。

主な産業は農業ですが、稲作のほかピオーネ、シャインマスカットを中心としたぶどう栽培も盛んで、首都圏の市場にも出荷されています。また、これらのぶどうは、ふるさと納税で非常に人気の高い返礼品となっています。

人気スポットは、日本棚田100選にも選ばれた「大坪和西棚田」「小山の棚田」、東洋一の硫化鉄鉱山として栄えてきた歴史や文化が学べる柵原鉱山、当時の駅舎や鉄道車両が現存する「柵原ふれあい鉱山公園」、本堂と並び、南北朝初期の優れた堂建築の代表的なものとされ、国指定重要文化財に指定されている「本山寺三重塔」、春には5千本の桜と1万本のツツジが咲き誇る絶景の「三休公園」など、多くの見どころがあります。また、美咲町出身で明治時代を代表するジャーナリスト岸田吟香ぎんこうが愛好した「たまごかけごはん」が人気です。



旭川湖を一望する「三休公園」

2. 活動開始の背景・経緯

倭文西地域は、5自治会からなる308世帯665人、高齢化率51%(R5.4現在)の山間地に住家が点在する地域です。

平成20年に岡山県の「集落再編・強化モデル事業(岡山元気集落)」に取り組むと同時に地域住民を対象としたアンケート調査を実施。住民の意見を取りまとめ、活動に反映するなど、いち早く地域住民の意見を取り入れて、地域活性化・地域活動に取り組んできました。

令和元年、モデル事業から11年が経過し、社会情勢や生活形態の変化、少子高齢化、人口減少(10年で200人強の減)など、大きく生活・地域環境が変化したことから、再度、中学生以上住民全員アンケートを実施しました。小規模多機能自治実践へ向けてのアンケートも兼ねており、倭文西地域で取り組むべきこと、できること、地域課題の洗い出しなど、地域での暮らしを守るため、課題解決の指針にする内容でした。



みんなでアンケート集計

その結果をもとに作成した『地域みらい計画書』を全世帯に配布し、地域づくりや活動内容の方向性を共有しています。

この計画書をもとに『これまで頑張ってきたこと』『新しくチャレンジすること』『失敗してもいいからやってみよう』など、地域全体を巻き込んで『地域でできることを増やしていこう』『倭文西のことは倭文西のみんなで』を合言葉に『賑やかな過疎』と『人交(人との交わり・交流)の増加』を目指しています。

3. 活動の内容

《定例意見共有会の開催》

毎月1回(第3木曜日)地域住民が集まり、『福祉』『観光・交流』『空き家』の3部会で話し合い、出た意見を共有しています。遅参・早退OK、自然体で和気あいあいとした雰囲気を取り組みを繋げている秘訣です。年齢や役職、男女の制限をなくすことで自由に意見を出せる場となっています。



地図を使って地域を把握

《空き家朝活》

地域内の1軒の空き家を借用し毎月、1回半日程度片付けやリフォームを行っています。大工経験者が中心になり、天井・床の張替え、障子張りなど、地域の名人・達人が参加してくれています。



みんなで楽しくワイワイガヤガヤ

《総合学習》

また地元小・中学生の総合学習の場となったり、地域内外から住まいを探すが見学を訪れるなど、多くの人交が生まれています。



森岡会長が授業(総合学習)

《地域資源 100 人リスティング》

地域内には、仕事や趣味など様々な分野で得意を持った人がいます。各種資格所有者・名人・達人・専門家など、100 人以上を目標にリストアップ（人財の洗い出し）を行い、データベース化を進め、活動への協力を図っています。



ふせんで名人のリストアップ

《地域新聞『ふれあい倭文西』》

毎月、地域の小さな出来事や身近なニュースをお知らせする地域新聞『ふれあい倭文西』は、13 年継続して発刊中で、令和 5 年 10 月号で第 162 号となりました。

記事の執筆、レイアウト、印刷まで地域住民で行っている身近な「手作り新聞」です。



地域の情報源（第 162 号）

《どんとこい収穫祭》

倭文西地域の 5 自治会が一つにまとまることを目的に、14 年前から開催している秋の一大イベント『どんとこい収穫祭』。地域住民が育てた野菜の販売や、各自治会が趣向を凝らした屋台、地域の芸達者の舞台発表と、他の地域や町外からも多くの人が訪れるなど、一番の地域活力の創出になっています。

コロナ禍で開催できない年が続きましたが令和 5 年は 4 年ぶりに開催します。今まで以上に倭文西地域の“自分たちが”楽しめる収穫祭を目指して準備を進めています。



ふれあい深まる収穫祭

4. 成果

《黄旗運動》

倭文西地域には、単身高齢者、高齢夫婦世帯が多く、見守りや声掛けが必要です。そのために黄旗を使った活動に取り組みました。

朝起きて「今日も元気だよ！」と玄関先に黄旗を掲げ、夕方に「今日も一日元気で過ごせました」と取り込みます。黄旗によりお互い声かけをし、日々の支え合いと常に見守られている安心感につながっています。

子どもたちが黄旗にイラストやメッセージを描いたり、配布にも参加してくれました。



元気の合図！（黄旗運動）

《マグネット運動》

氏名、生年月日、緊急時の連絡先（親族等）、かかりつけ医、服用中の薬などを書いた『緊急時対応シート』を作成し、マグネットを使って冷蔵庫に張り付け、緊急時に備えるようにしました。単身高齢者、高齢夫婦世帯をはじめ、緊急時の救命活動の一助になると設置が進んでいます。

倭文西 救急安心カード

このカードに必要な情報を記入し、袋に入れ冷蔵庫につけてください。緊急時、救急隊などの確に情報を伝えることができます。

作成日 令和 4 年 9 月 1 日

住所	〒160-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1	性別	男	血液型	A	お薬手帳の 置き場
氏名	佐藤 太郎	年齢	72	緊急連絡先	03-XXXX-XXXX	
生年月日	1953年 10月 14日	緊急時連絡先	03-XXXX-XXXX	かかりつけ病院 (診療科・担当医師名)	〇〇病院 〇〇先生	
保険証番号	12345678901234567890	その他	〇〇〇〇〇〇〇〇	病院	〇〇〇〇	

もしもに備えた対応シート

《倭文西自慢のレシピ集》

倭文西地域に伝わる各家庭の自慢料理レシピ、山菜の調理方法や保存方法を集めた『倭文西自慢のレシピ集』の作成に取り組んでいます。

地域みらい計画書を読んだ女性たちの発想で、次世代につなげたい思いを込め、楽しみながら作成中です。

5. 課題と展望

《SNSの活用》

定例の共有会開催や行事等についての連絡事項は、声かけ・回覧などで行っていましたが、LINEを活用した連絡方法も取り入れ、若年層や女性が参加しやすい環境づくりに努めています。

地域の情報や、地域新聞『ふれあい倭文西』などをFacebook で情報発信することで、地域の出身者へも“倭文西の今”を届けています。

今後は、今以上にSNSを活用し、地域の 100 人ユーザーによる配信も目標にしています。



「いいね」してね Facebook

《人交増加で『賑やかな過疎を』》

「お金では地域づくりはできない」という考えから、必要最低限の経費を除き、お金をかけることなく地域内のみんなであつながり、協力し、助け合うという『意識づくり』を心がけています。『賑やかな過疎』と『人交の増加』を目指し、人口減少に直面しつつも、今住んでいる人が楽しく暮らせる人情あふれた地域づくりにこれからも取り組んでいきます。



倭文西 Facebook QRコード